

# 防災特集

## 地震はある日突然

日本は、この狭い国土で、全世界の地震の約一割の発生があると言われています。歴史的に見ても地震の起こらない地域は無いと言ってよいでしょう。しかも、地震はある日突然にやってきました。

大きな家具はしっかりと固定されているでしょうか。水や食糧など万一の備えは万全でしょうか。地震の時の避難場所や連絡先を、家族みんなが知っているでしょうか。地震の被害は、火災や人々の動揺によって起こる第二次災害が多いこと、そして日ごろの備えが被害を最小限にいくとめる大きな力になることを、家族みんなが理解してお

きたいものです。



▶ 地震災害警戒本部  
(九月一日の防災訓練)

## あわてず素早く対応を

### 地震の心得10カ条

- ① まずわが身の安全を図れ
- ② 素早く火の始末
- ③ 非常脱出口を確保する
- ④ 火が出たらまず消火
- ⑤ あわてて外へ飛び出すな
- ⑥ 狭い路地、塀ぎわ、ガケや川べりに近よらない
- ⑦ 山崩れ、ガケ崩れに注意
- ⑧ 避難は徒歩で、持ち物は最少限にする
- ⑨ みんなが協力し合って応急救護や消火活動
- ⑩ 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな



## 今月のふるさと

### カレンダー

#### 十月の写真説明

この写真は、絵ハガキからのもので「柳田橋ヨリ勝山城趾ヲ望ム」と説明があります。柳田橋と城山……現在の写真は、上谷五丁目の山口燃料ビルの屋上から撮影したもので、同じ場所からは撮影できませんでした。

古い写真を見ると家中川の

水量の多さにびっくりします。これから、灌漑用水・生活用水など多く使われていることがわかると思います。また、家中川にそって、馬入れ道があっただけで、現在の家中川通り線のようになったのは、終戦前のようなのです。

柳田橋……現在の橋は、昭和二十九年に完成したもので以前は、木橋が架かっていました。柳田橋という名は、この近くに柳の木が多くあったことから付けられたようです。

城山……甲府城主浅野長政の一族である左衛門佐氏重(さへもん)のすけうじしげが領主となり、このとき谷村の居館に対して要害城として勝山城がつけられました。このことから城山と呼ばれるようになりました。

※この説明とは関係ありませんが、志村文雄さん(上谷四丁目)に「桂川と柄杓流川の合流点の少し上流に煙硝車があった」「昔の街道沿いには必ず寺や祠(ほこら)があった」という話も聞きました。

